

第38回県民総合スポーツ大会
第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区予選実施要領

1. 目 的
日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。
2. 主 催
公益財団法人埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団／公益財団法人埼玉県サッカー協会
3. 共 催
埼玉県／埼玉県教育委員会
4. 主 管
埼玉県スポーツ少年団サッカー部会
5. 後 援
テレ玉／埼玉新聞社／読売新聞さいたま支局
6. 運 営
北部地区少年サッカー協議会

7. 期日会場

試 合	開催日	ブロック名	会 場 名	責任者チーム
予選リーグ	10月26日(日)	A	江南総合公園(小原運動公園)	江南南サッカー少年団アップル
		B	江南総合公園(小原運動公園)	熊谷西スポーツ少年団
		C	用土グラウンド	寄居FC
		D	大麻生グラウンド	フリーダムFC
決勝リーグ・トーナメント	11月3日(月)	ABCD	江南総合公園(小原運動公園)	

予備日:11月2日

8. 参加資格
 - (1)2025年度度埼玉県スポーツ少年団に登録済のチームで北部協議会に加盟しているチームであること。
 - (2)前(1)のチームに団員登録済の選手であり、13歳未満の小学生で、スポーツ安全保険又は傷害保険に加入していること。
 - (3)前(2)により当該単位団に登録済の選手は、本大会予選開始以降については、転校又は転居による場合を除き、他の単位団に追加登録して参加することはできない。
なお、地区予選運営責任者が定める期日までに新たに追加登録を完了した選手は、参加することができる。
 - (4)次の要件のすべてを満たす単位団は、2チームの参加を認める。ただし、地区予選を勝ち抜いたチームが参加する中央大会は、11人制での開催になることを考慮して判断すること。
 - ① 17人以上の6年生を登録し、それぞれのチームに1人以上の6年生を登録すること。
 - ② エントリー表に記載した選手は、地区予選終了までチーム間の移動をしないこと。
 - ③ エントリー表に記載する監督・指導者はそれぞれのチームを兼務しないこと。
 - ④ それぞれのチームに有資格審判員を2人以上帯同できること。
 - (5)前(1)のチームであって、少人数等のため単独では参加できないチームの救済措置として、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、合同チームでの参加を認める。ただし、いずれの条件においても、同一地区内とし、あらかじめ地区運営責任者の承認を受けること。
なお、合同チームで参加する場合は、チーム名を「〇〇〇・〇〇〇合同」とし、統一したユニフォームでエントリーすること。
 - ① 合同で参加する全てのチームの団員登録済の6年生が7人以下の場合は、合同するチーム数の制限は設けない、
 - ② 合同で参加する一方のチームの団員登録済の6年生が7人以下の場合は、合同するチーム数は2チームまでとする。
9. 参加資格
の確認要領
 - (1)地区予選運営責任者は、(2)の要領により参加申込チームの参加資格について確認する。疑義がある場合は直ちに埼玉県スポーツ少年団サッカー部会長に報告する。(サッカー部会の審査により参加の可否を決定する。)
 - (2)組み合わせ抽選前までに、参加申し込みチームのエントリー表及びスポーツ少年団登録システムからダウンロードした名簿(団名、団員一覧、指導者一覧)を照合して確認する。
大会当日は抽選時に確認済みの、エントリー表を提出する。
※メンバー表に必要事項を全て記入し、試合ごとに1部提出する。
- 10 競技規則
日本サッカー協会競技規則2025/26及び8人制サッカー競技規則による。
- 11 競技方法
 - (1)トーナメント戦方式(4ブロック…A、B、C、D)とする。
 - (2)試合時間は40分(20・5・20)で行ない、勝敗の決しない時はPK方式による。
但し、決定戦で、時間内に勝敗が決しないときは、10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は、PK戦により勝者となるチームを決定する。
延長戦に入る前のインターバルは5分、PK戦に入る前のインターバルは1分とする。
PK戦により勝者となるチームを決定する場合は、出場中の競技者3人により行う。
<試合時間> ① 9:00 ② 10:00 ③ 11:00 ④ 12:00 ⑤ 13:00

11 大会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールドは68m×50mを基準、ゴールは5m×2.15mとする。

(2) 試合球は4号JFA検定球とする。

(3) 競技者の数

① 1チーム8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
6人以上で試合成立とする。

② 退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。

③ 交代要員の数は、12人以内とする。

(4) ベンチ入りできる役員は、指導者として埼玉県スポーツ少年団に登録済の2人以上5人以下とする。ただし、監督を含む2人以上は、理念を学んだ指導者として登録済でなければならない。(役員・スタッフとして登録している者は、ベンチ入りできない。)

(5) 競技者のユニフォーム・用具

① 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを着用しなければならない。

② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。なお、正・副の2色については、明確に異なる色とする。

③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいときは、両チーム立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

④ 前③の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑤ 選手の用具の運用については、次のとおりとする。

・ソックステープ等の色は問わない。

・アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを使用する。

・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色系であれば着用することができる。ただし、ビブス等は不可とする。

⑥ キャプテンが着用するアームバンドについて

・フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。

・アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。

・市販のメーカーロゴが入ったアームバンドの着用は認める。

・スローガン、メッセージが入ったアームバンドの着用は認めない。

⑦ ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。

(6) 試合時間は、40分(20分－5分－20分)とする。

なお、天候により、競技時間内に飲水タイム又はクーリングブレイクを設ける。

(7) 選手交代

各試合のメンバー20人以内の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

① 主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。

② ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。なお、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外へ出なければならない。

③ ゴールキーパーとフィールドプレーヤーとの入れ替えは、アウトオブプレーになったときに主審に通知し、承認を得て行うことができる。

④ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(8) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は、相手チームのゴールキックで再開する。

12 代表権

各ブロックの第1位(計4チーム)を埼玉県大会の北部地区代表チームとする。

13 注意事項

実施上の詳細は、別途記載の確認事項による。

14 その他

(1) 要項・確認事項の各条項が守られない場合、大会運営に対し不適切な行為があった場合には、本大会のフェアプレー・規律委員会において審議する。(JFA懲罰規定による。)

(2) 競技場内での水以外の“スポーツドリンク”等の持ち込み及び摂取については、JFA通達(2011.5.31)の趣旨に鑑み、使用会場と調整を図りその可否について決定すること。

(3) 熱中症対策及び落雷事故防止対策については、埼玉県サッカー協会第4種委員会からの「各チーム活動における留意事項等のお願いについて(通知)(令和6年5月27日)」を基準に対応すること。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、埼玉県U-12サッカー連盟ホームページに掲載の「サッカー活動にあたっての基本的な考え方」を参考として、引き続き十分な対応をとって活動すること。

第38回県民総合スポーツ大会
第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区予選実施要領

競 技 役 員

委 員 長 高橋 哲男

副 委 員 長 宮嶋 秀夫

実 行 委 員 井出 康之 清水 馨 茂木 克彦
市川 貴史 佐久間 恭伸 高橋 豊
荻野 敦人 櫻井 均 菊池 正紀
石川 智徳

運 営 委 員 石塚啓太郎 新井 崇之 八木原 宏明
山田 和彦 清水 宏亮 中里 真二
吉田 博之 野村 美宏 野口 憲
佐藤 恵一 関根 成紀

フェアプレー・規律委員(兼)

高橋 哲男 宮嶋 秀夫 井出 康之
清水 馨 茂木 克彦 市川 貴史
佐久間 恭伸

確 認 事 項

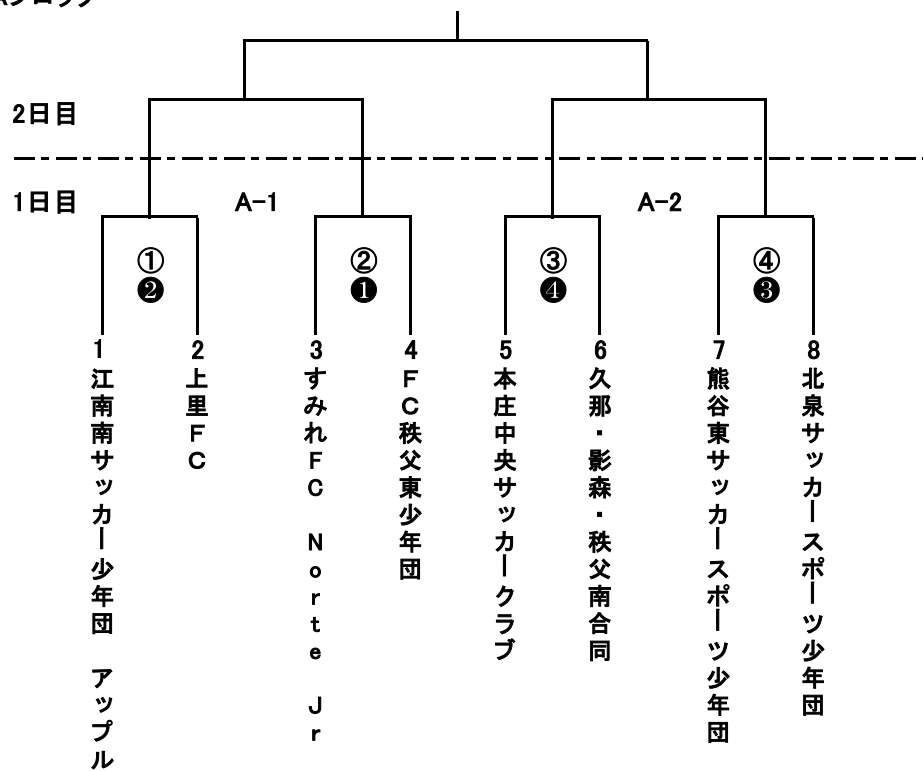
- メンバー表の提出及び選手証・ユニフォーム・指導員資格保有の確認について
 - メンバー表様式：メンバー表に必要事項を全て記入し、試合ごとに1部提出する。
※先発選手○印・控選手無印(使用するユニフォーム欄○印は未記入)
 - 試合開始50分前：メンバー表を本部に提出する。
 - 試合開始40分前：「正・副2組のユニフォームを持参して、審判員によるチェックを受ける。
(マッチミーティング)(対戦相手と類似色の場合は、話し合い又は主審のトスにより決定する。
ただし、原則としてホームチームに優先権を与える。)
※使用するユニフォームが決定したらユニフォーム欄に○印を記載する。
※やむを得ない理由で審判がチェック出来ない場合は会場責任者が代行する。
※公認4号ボールを持参する。
 - 試合開始10分前：交代要員を含む全選手とメンバー表との照合及び用具等の確認を受ける。
- ユニホーム・用具について
 - 登録された正・副のいずれかを着用する。(正・副は同系列色以外とする。)
 - 選手の用具の運用については、次のとおりとする。
 - ・ソックステープ等の色は問わない。
 - ・アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを使用する。
 - ・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色系であれば着用することができる。ただし、ビブス等は不可とする。
 - ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。
- 審判について
予選トーナメントは各チーム有資格者2名(主審と第4の審判員の2名又は副審2名)の帯同審判員が行う。
・主審と第4の審判員、副審2名は、該当チームで話し合って決める。
審判割当 4試合ブロック ① ⇄ ② ③ ⇄ ④
 5試合ブロック ③ → ① → ② ④ ⇄ ⑤

決勝トーナメントは主審及び第4の審判員を審判委員会からの派遣で行い、副審は帯同審判員が行う。
審判割当 ① ⇄ ② ③ ⇄ ④ ⑤ ⇄ ⑥
※審判を行なう場合には更新済みの審判証(写真付)を携帯する事を義務とします。
- 選手交代について
自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。
- 飲水タイムについて
必要に応じて、試合の前・後半の半ばに飲水タイムまたはクーリングブレイクを設ける。
- ベンチについて
 - ベンチに入れる者は、登録選手20名以内と、登録された指導者(監督・指導者・スタッフ)2名以上5名以内とする。
 - チームベンチは競技のフィールドに向かって左側をトーナメント表の若い番号のチームとし、対戦相手が右側とする。
 - ベンチに入る指導者(監督・指導者・スタッフ)は、少年年代の指導者としてふさわしい態度・言動(指示)で臨むこと。
(ベンチでの携帯電話・カメラ・ビデオ等の使用は禁止する。)
- 退場、警告について
本大会の試合において退場を命じられた選手等(選手・監督・役員(指導者))は次の1試合を出場停止とする。
警告を累積2回受けた選手等も同様とする。
累積警告・退場の処分は県大会へは持ち越さない。ただし、出場停止処分の未消化分は、県大会に持ち越し適用される。
- 公認4号ボールを持参する。
- 試合中のグラウンド外のアップは指定された場所で行なう。
又、ハーフタイム中と試合直前のグラウンド内での練習は原則として不可とする。(会場責任者の指示に従う。)
- タバコの吸殻・缶・ビン等のゴミは、各チームで用意するゴミ袋に収納して持ち帰ること。
- 営利目的や選手・スタッフの肖像権の侵害となる写真撮影、およびビデオカメラやスマートフォン等による試合動画の撮影、インターネット配信、三脚等を含む大きな機材の使用、また他の観客の観戦や試合運営を妨げる撮影行為をすることは禁止とする。なお、撮影については、下記も遵守のこと
撮影については以下を遵守する。
 - ① 私的目的以外で、試合及び観客等の写真撮影または動画撮影、並びに撮影した写真または
 - ② 動画の全部または一部を、インターネットその他のメディアを通じて配信することは禁止とする。
- 確認事項は、指導者や参加される保護者及び関係者に自チームで周知徹底を図ること。
- 雨天のときの決定は、各副会長を通じて連絡する。(前日の20時以降)
- 使用施設のコロナ対策として、同時に使用できるチーム数が決まっている場合は、施設の使用条件に従うものとする。
施設によっては、負けたチームは速やかに帰路につき、次チームのための場所を空けること。
- 駐車については、各会場責任者の指示に従い路上駐車や迷惑駐車等を絶対にしない事。
また、**必ずチーム名を明記した駐車証を外部から見えるところに掲示しておく事。**
- 自チーム試合終了後、チーム名、得点及び得点者、背番号を記載のうえ、本部に提出すること。
1日目の審判報告書と得点者の記録(試合結果報告書)は決勝リーグに残ったチームが2日目に本部に提出すること。

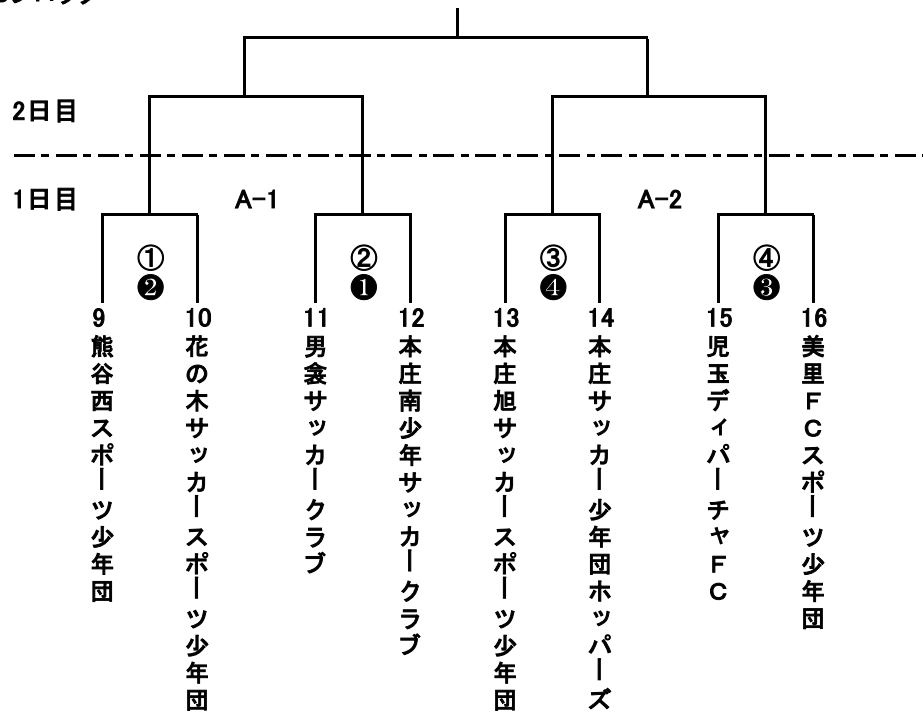
本確認事項が守れないチーム又は指導者の場合
埼玉県北部地区少年サッカー協議会の確認事項に基づき処置する。

第38回県民総合スポーツ大会
第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区予選
10月26日(日)

Aブロック

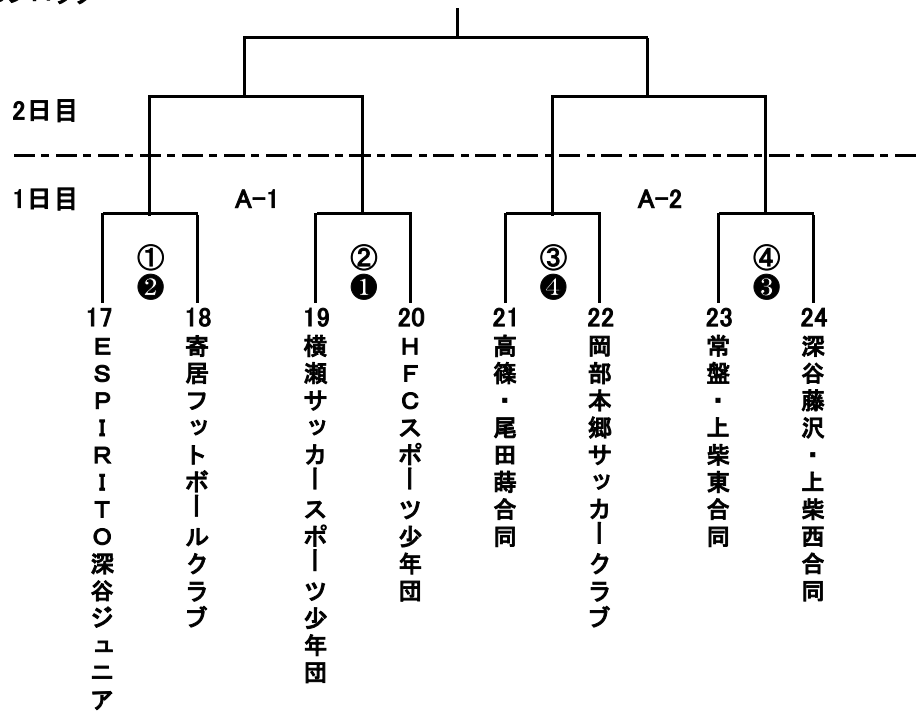


Bブロック

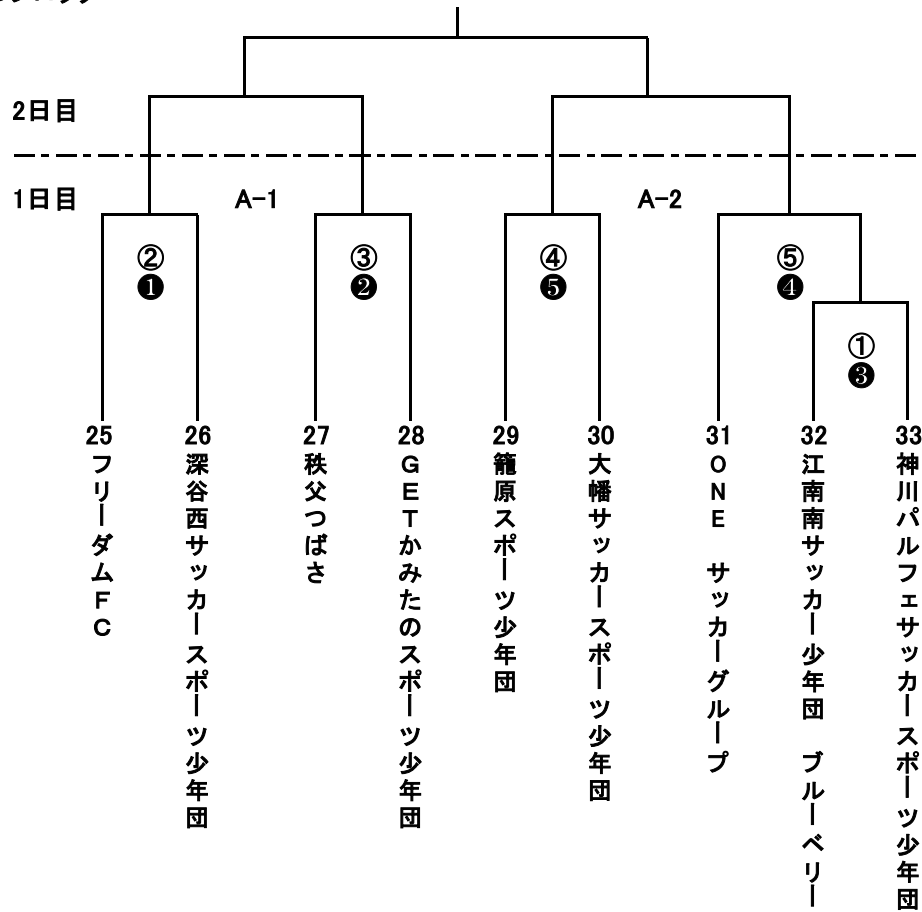


第38回県民総合スポーツ大会
第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区予選トーナメント
10月26日(日)

Cブロック



Dブロック



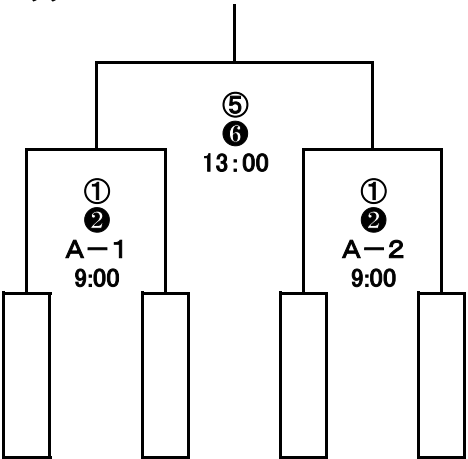
第36回 県民総合スポーツ大会 兼 第52回 埼玉県サッカー少年団大会北部地区予選

開催日:2025年11月3日(月)

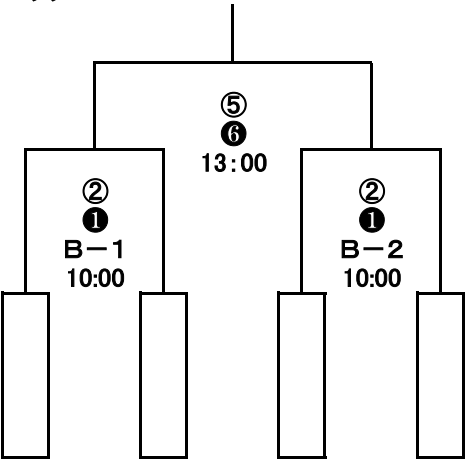
会場名:江南総合公園

* 主審及び第4の審判員を審判委員会からの派遣で行い、副審は帯同審判員が行う。

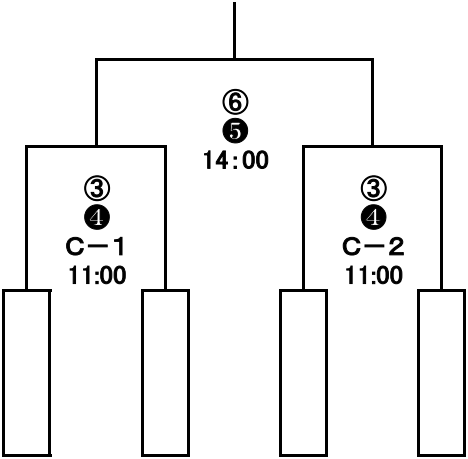
Aブロック



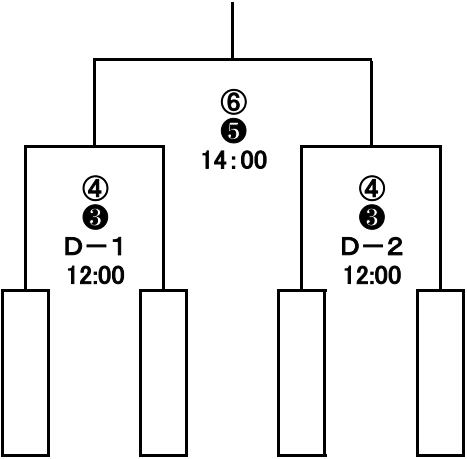
Bブロック



Cブロック



Dブロック



Aコート

第1試合	9:00	A-1	0	対	0
第2試合	10:00	B-1	0	対	0
第3試合	11:00	C-1	0	対	0
第4試合	12:00	D-1	0	対	0
第5試合	13:00	A-1の勝者	0	対	A-2の勝者 0
第6試合	14:00	C-1の勝者	0	対	C-2の勝者 0

Bコート

A-2	0	対	0
B-2	0	対	0
C-2	0	対	0
D-2	0	対	0
B-1の勝者	0	対	B-2の勝者 0
D-1の勝者	0	対	D-2の勝者 0

北部地区代表チーム

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Dブロック

得点者の記録(試合結果報告書)

大会名： 第38回県民総合スポーツ大会第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区 会場：
予選
2025 年 月 日 : KickOff 試合形式：

			前半			
			後半			
			延長前半			
			延長後半			
			PK			

得点者	得点者

大会名： 第38回県民総合スポーツ大会第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区 会場：
予選
2025 年 月 日 : KickOff 試合形式：

			前半			
			後半			
			延長前半			
			延長後半			
			PK			

得点者	得点者

大会名： 第38回県民総合スポーツ大会第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区 会場：
予選
2025 年 月 日 : KickOff 試合形式：

			前半			
			後半			
			延長前半			
			延長後半			
			PK			

得点者	得点者

大会名： 第38回県民総合スポーツ大会第54回 埼玉県サッカー少年団大会 北部地区 会場：
予選
2025 年 月 日 : KickOff 試合形式：

			前半			
			後半			
			延長前半			
			延長後半			
			PK			

得点者	得点者

自チーム試合終了後、チーム名、得点及び得点者、背番号を記載のうえ、本部に提出すること。

駐車証

チーム名

記入例です。

江南南サッカー少年団

埼玉県北部地区サッカー協議会

駐車証

チーム名

埼玉県北部地区サッカー協議会